



岐阜県感染症発生動向調査週報

Gifu Infectious Diseases Weekly Report

令和元年 8月 9日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

2019年第31週

(7/29~8/4)

- RSウイルス感染症は、前週の2倍に増加しており、今後の流行が予想されます（昨年ピークは9月）。
- 手足口病は、前週より減少したものの、すべての保健所管内で引き続き警報レベルの流行となっています。
- ヘルパンギーナも、患者報告数の多い状態が続いています。
- 咽頭結膜熱が増加しており、特に恵那保健所管内で患者報告数が多くなっています。
- 流行性角結膜炎がわずかに増加しています。例年夏～秋に流行しますので、今後の動向に注意が必要です。

■ 定点把握対象疾患の発生動向（インフルエンザ 定点:87 か所、小児科定点:53 か所、眼科定点:11 か所、基幹定点:5 か所）

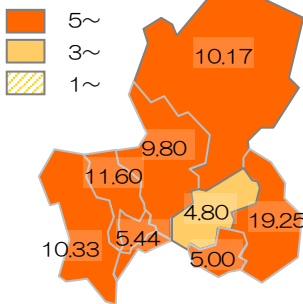
● 警報・注意報レベルの保健所がある疾患

レベル	疾患名	基準	該当保健所（定点当たり報告数）
警報レベル	手足口病	定点当たり5人以上 (2人を下回るまで継続)	岐阜市(5.44)、岐阜(11.60)、西濃(10.33)、関(9.80)、 可茂(4.80)、東濃(5.00)、恵那(19.25)、飛騨(10.17)
	咽頭結膜熱	定点当たり3人以上 (1人を下回るまで継続)	恵那(3.00)
注意報レベル	なし	—	

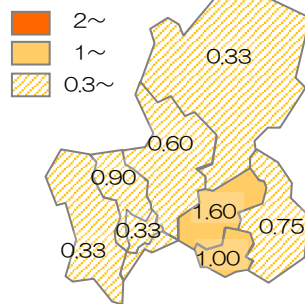
※定点当たり報告数が一定の基準を超えた場合、保健所単位で「警報・注意報レベル」を発信しています。
 警報レベルは大きな流行が発生または継続していると疑われることを、注意報レベルは流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

● 注意したい感染症の保健所別流行状況（地図中の数値は定点当たり報告数）

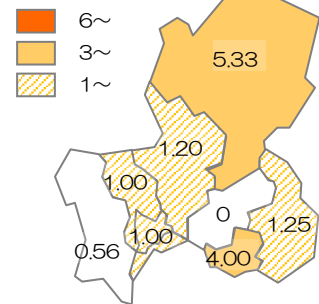
<手足口病>



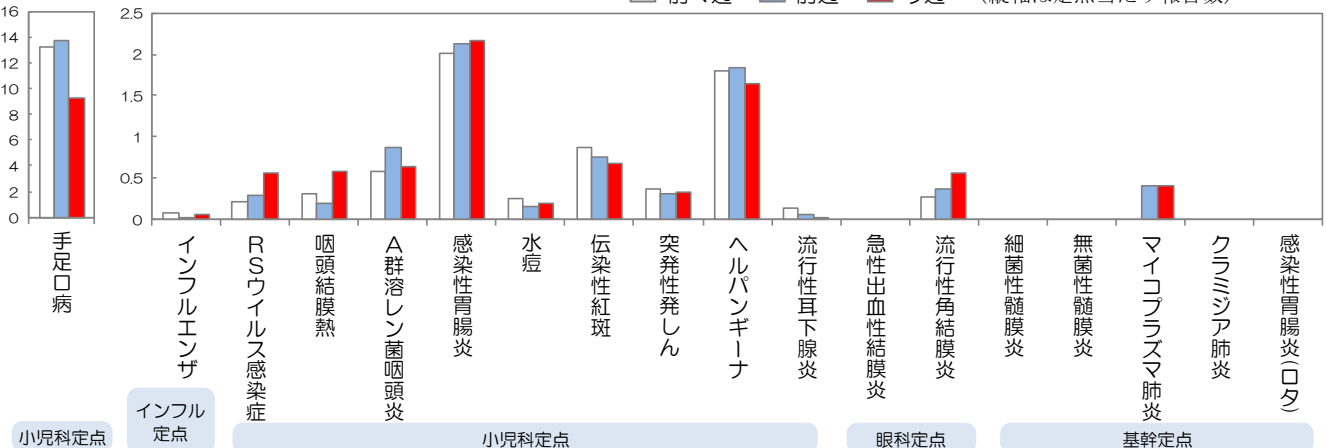
<伝染性紅斑>



<ヘルパンギーナ>



● 直近3週の推移



■ 全数把握対象疾患の発生動向

● 今週届出分

- 1類感染症：なし
- 2類感染症：結核 12例
- 3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 2例
- 4類感染症：レジオネラ症 8例
- 5類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2例、後天性免疫不全症候群 1例、侵襲性肺炎球菌感染症 3例、水痘（入院例）1例、梅毒 1例、百日咳 6例

全国情報は国立感染症研究所感染症疫学センターのHPをご覧ください。

感染症発生動向調査週報 (IDWR) <https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.html>

※今週のトピックスはありません。

岐阜県感染症情報センターHP <http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kenko/kansensho/kansensyo/>